

梅本工業株式会社

熊本市北区



創業50余年、初めはリアカー部品の下請け製造からスタート。その後各種金属製品の製造加工・販売を行うようになり、取り扱う製品もステンレスやアルミニウム、半導体や自動車の製造機器の部品製作と幅を広げ、2代に渡り製造加工に取り組んでいます。

所在地	〒861-8005 熊本市北区龍田陳内4-1-33
代表者	代表取締役 梅本 喜夫
電話	096-338-2384
業種	技術サービス業
資本金	300万円
創業	2016年（法人化）
従業員数	5名（正社員4名 パート1名）
採択年度	平成28年度

マシニングセンタによる加工技術の開発と 短納期化による収益向上

事業取り組みの目的

**事業承継のタイミングで現状を見直し。
業務内容も体制もさらなる強化を目指す**

先代からナットやプレート、台座などの金属製缶加工を主力製品として製造。職人による手作業も多く、その分品質には自信を持っています。小規模の工場で融通が効くので急な依頼等の製造納品に対応できること、地の利を活かしてフットワーク軽く対応できることを強みとして取り組んでいます。

しかし、安価な海外製品が増えてきたこともあり、市場環境は年々厳しくなっています。そんな中2016年に法人化。また、主要取引先からの受注が売上の大半を占める状況にも危機感を感じ、精度向上と今まで以上の短納期化を図り販路拡大を目指したいと、立型マシニングセンタの導入を考えました。

取り組み内容

熟練の技を高精度で継承可能に。作業に余力が生まれ生産量も向上

今回新たな設備導入に踏み切ったきっかけは、主要取引先からの機械部品の加工要望にもありました。長年の取引実績と信頼関係があったにもかかわらず、それを加工する機械がなかったのです。新たに加工技術を開発する必要も生じますが、立型マシニングセンタを導入することで既存の製缶加工にも対応でき、メリットは十分あると判断しました。

実際に運用を始めてみると、今まで熟練工が一つひとつ手作業で10分程要して行っていたものが、機械化により高精度で連続生産が可能になり、大幅な時間短縮と作業負荷の軽減につながりました。また、熟練工の勘や経験に頼っていたものが、プログラミングされて再現可能となるので、若手への技術継承・新規雇用にもつながっています。

取り組み後の状況とこれからの展望

現状維持ではなく、常に変革を。時代に合わせた対応力で乗り切りたい

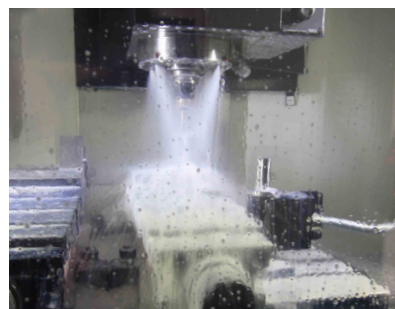
機械化により、長年の実績を積んできた製缶加工と機械加工の両方ができるようになったことはやはり大きなメリットです。機械による大量生産が可能になったからこそ発注量も増え、依頼された仕事を基本断らずに受注できる体制が作れています。生産量の増加にもかかわらず、残業もほぼなく対応できているので、作業の効率化はできていると感じています。

実は、ものづくり補助金のことは知らずに立型マシニングセンタの導入を計画していましたが、メーカーや同業者からのアドバイスで申請をすることにしました。設備導入は大きな投資になるので、そこを下支えしてくれる補助金の存在は本当にありがたいです。

弊社はコツコツと営業を続けてきた中小企業ですが、信条として「現状維持は会社を潰す」と考えています。時代と共に市場も常に変化しています。人も機械も変わります。だからこそアンテナを張って、変化に対応できる状況を作り出し、世の中の流れも仕事も掴む。これからも様々な要望に胸を張って応えられる体制づくりを続けていきます。



導入した立型マシニングセンタ



切削加工中



穴あけ加工などの切削加工が
高精度、短時間で行うことができる